

会員各位

医療・医薬品情報研究会

副代表幹事:松田 孝

平成 23 年 3 月研究会（第 138 回）のご案内

医療は医学を中心としたいくつかの社会のシステムを包含するため、医療現場における諸問題を解決するためには、医学関係のみならず政策、メディア、教育、等の異なる分野の有機的な連携が必要です。医療現場における問題例を取り上げ、医療現場の主人公である患者とそれを直接支える医療スタッフたちが、現場の視点から具体的な問題提起を行い、その適切な解決策を議論する機会を創出することを目的としてスタートした「現場からの医療改革推進協議会」のシンポジウムも昨年 11 月に 5 回目が開催されました。

このシンポジウムの冒頭、林 良造先生（東京大学公共政策大学院教授）は「過去多大な成果を上げた日本の医療が、医療現場の荒廃と Drug Lag、Device Gap 等急速に劣化した背景には、医療関連の技術の大幅な革新と、Globalization の進展がある。急速に進んだ低侵襲性の新たな技術・新たな医薬は、治療法を変え、患者の予後・QOL を大きく変えた。これは、人類にとって大きな利益と同時にリスクと費用の増大も意味し、各国政府は、①医療現場での早期活用と副作用の防止の両立、②高齢化が進む中で、技術開発の促進、新技術の利用の拡大と同時に医療費の膨張の抑制が強く求められる様になった事、と言う 2 つの大きな政策課題に直面する様になった」と述べられています。

今月の研究会では、このシンポジウムの開催を事務局として支えられた東京大学医科学研究所の上先生をお招きして、亀田隆明先生（医療法人鉄蕉会理事長）や中村丁次先生（日本栄養士会会長）等々、各シンポジストの提言の紹介、そこで討議された問題点などをご紹介します。多数の会員の参加をお待ちしています。

記

日 時： 平成 23 年 3 月 17 日（木） 15 : 00 ～ 17 : 00

会 場： 五反田 T O C ビル B 1 F 会議室 【品川区西五反田 7-22-17】

JR 五反田駅西口 野村証券前から送迎バスが出ています。（8 分毎）

テ ー マ： 「現場からの医療改革」

講 師： 上 昌広 先生（東京大学医科学研究所 特任教授）

会 費： 3000 円（当日、会場でお支払いください）

そ の 他： 出欠連絡は 3 月 14 日（金）迄に (n_mizuno@ivory.plala.or.jp) 宛てに

当日連絡先： 松田（090-8444-4275）、水野（090-1813-7067）